

JSA 神奈川支部通信

No. 4 April 2023 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP : <https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail : iioka408@gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議 神奈川支部

この号の目次

- ◆ JSA 神奈川支部研究交流会の報告 神奈川支部幹事会
- ◆ 「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民の集いの報告 後藤仁敏
- ◆ 第 3 回山中市政を進める市民のつどい「地方財政と市予算案を学ぶ」の報告 後藤仁敏
- ◆ 県知事選勝利をめざす決起集会の報告 後藤仁敏
- ◆ 今、平和を築くには～軍拡でなく 9 条こそが国を守り人間性を守る 神奈川民間懇 北山宏之
- ◆ 横浜市 2023 年度予算案学習会の報告 後藤仁敏

JSA 神奈川支部研究交流会の報告

神奈川支部幹事会

2023 年 2 月 18 日、日本科学者会議神奈川支部が研究交流会を開催しました。

はじめに萩原伸次郎代表幹事（横国大名誉教授）が「危機に立つ日本経済―日米関係から読み解く」について、以下のように講演しました。

岸田政権は経済政策として「新しい資本主義」を掲げましたが、その内実はアベノミクスの踏襲であり、新自由主義的経済政策の続行です。政権はロシアのウクライナ侵略や中国の海洋進出などを受け、大軍拡を進めています。政権は「専守防衛」を投げ捨て「先制攻撃」も可能な防衛政策に大転換しました。

日本は、アベノミクスによって労働者の賃金と実質 GDP は停滞したまま、円安誘導で多国籍化した大企業は大儲けして株価と内部留保はたまり、超格差社会が形成されました。「経済の軍事化」が進み、軍事費の突出、「武器輸出三原則」を撤廃し、武器輸出が増大し、軍需企業が台頭し、16 年段階で世界の軍需企業のトップ 100 に日本企業が 19 社も入っています。三菱重工、IHI に加え、東芝、NEC、日立、三菱電機、富士通など日本の主力企業が軍事化しているのです。

日本の軍事戦略は、アメリカの世界戦略・軍事戦略と関連して、対米従属で実施されている。オバマ政権は鳩山政権の「東アジア共同体構想」をつぶし、TTP 参加を進めましたが、トランプ政権は参加を拒否し、対中制裁路線を進めたが、アメリカ多国籍企業と農民の反対にあいました。

バイデン政権は、対中国包囲網の形成では従来の路線を引き継いだが、同盟国重視路線を進め、日米安保により日本を対中国包囲網に、軍事・政治・経済を含めて巻き込もうとしています。

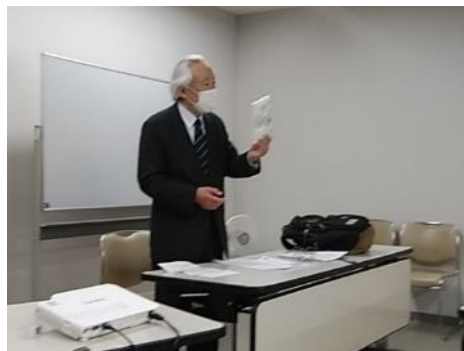


図 1 講演する萩原伸次郎さん

岸田政権による国家防衛戦略での「反撃能力（敵基地攻撃能力）」の保持は、「専守防衛」を放棄し、他国を先制攻撃する可能性があり、明確に憲法違反です。自公・維新の政治家は、日本の「真珠湾攻撃」がいかに悲惨な結果をもたらしたか理解しておらず、たいへん危険です。

防衛力整備計画での5年間43兆円の軍事費拡大は、日本経済の軍事化を加速します。アメリカ軍事企業からの軍需品購入と同時に、日本の軍需企業の儲け口を増やすのが目的です。日本学術会議が学問の軍需利用に反対しているので、これに介入し、軍事に学問を動員し、防衛省から軍事研究に多額の費用をつぎ込み、大学を軍事研究に動員しようとたくらんでいます。

軍事増強の連鎖反応が取り返しのつかない戦争に繋がる危険性があり、外交を通じた東アジアの安定を考えるべきです。なんとしても今の平和憲法を続けていくことが、日本と東アジアの繁栄につながります。

講演後、4つの話題提供がありました。鈴木秀顕さん（松蔭大学准教授）は「持続可能な教育を考えてもったいない」、塩川祥子さん（静岡大学元教授）は「静岡大学工学部初の女性教員になって」、飯岡ひろしさん（SUW 研究所代表）は「かながわの水道と持続可能性」、後藤仁敏さん（鶴見大学名誉教授）は「山中市政の1年半と4月の横浜市会選の課題」について話しました。塩川さんが週刊新聞「新かながわ」の「自由の窓」に連載したお話が印象的でした。

会場では 萩原さんの近書『「新しい資本主義」の真実』（かもがわ出版）も販売されました。また、終了後、有志6人で久しぶりに懇親会が開かれ、大いに盛りあがりました。

「建国記念の日」に反対する県民の集いの報告

後藤仁敏

2023年2月11日、JSA 神奈川支部も実行委員会に参加する「建国記念の日」に反対する県民の集いが、県民センターホールで開催され、137人の県民が集まりました。

最初に、実行委員会を代表して、私が「紀元節復活から始まった日本の右傾化の総仕上げとしての憲法改悪を許してはならない」と基調報告しました。

前川喜平さん（元文部科学省事務次官）が「憲法と教育一人権・平和・民主主義の守り手は」と題して、予定時間を30分も延長して、次のように講演しました。



図1 講演する前川喜平さん

教育の戦前回想

「建国記念の日」は戦前の紀元節を復活させるために1966年に祝日法改正で定められた。紀元節は1873年に天長節（天皇誕生日）とともに制定され、四方節（1月1日）と合わせて「三大節」とされ、学校では職員・児童が学校に参集して「君が代」を合唱、天皇・皇后の御影に最敬礼し、教育勅語も読みあげられた。

教育勅語は、國體思想、すなわち、国家神道を教える神話的国家観、封建的道德を教える道義国家観、家父長主義を教える家族国家観からなる。

2022年9月7日には、超党派の「明治の日を実現するための議員連盟」が設立され、かつての天長節、明治節であった11月3日を明治説として復活させようとする動きがある。

昨年9月の安倍国葬では、自衛隊中央音楽隊が「國の鎮め」と「悠遠なる皇御国」を演奏したのは政教分離に反している。

2006年に教育基本法が改定され、道徳心や愛国心などの「教育の目標」規定された。その後、衆議院で排除され、参議院で失効とされた教育勅語を、安倍政権は教材として使用してもさしつかえないと変えた。戦前の修身を復活させるために道徳が教科化され、自己犠牲を美化する教科書もつくられた。

統一教会は家父長的道徳を押し付ける家庭教育支援法、性の自己決定権を奪う青少年健全育成基本法の制定を求めており、自民党の公約にも盛り込まれた。宗教二世の宗教的虐待、子どもの信教の自由を侵害しており、問題だ。

憲法と教育

日本国憲法は個人の尊厳と立憲主義を大切にしている。憲法と教育は互いに支え合う関係で、憲法は教育の自由権・社会権・参政権を保障し、教育によって平和で民主的な国家・社会の形成者が育成され、憲法が支えられている。

教育を受ける権利を保証し、不当な支配を禁止し、学問の自由と教育の自由が守らなければならない。学校が生徒や教師の人権を尊重する場所にならなければならない。

ユネスコ憲章前文は、無知と偏見によって戦争が起こるので、人類の知的および精神的連帯によって平和を築かなければならないとしている。

主権者教育は重要で、日本でも18歳選挙権により、高校での政治的教養の教育と生徒の政治的活動について、具体的かつ実践的な指導を行うことが重要とされた。

ドイツのボイテルスバッハ合意に比べると、生徒は自分の頭で考え、自分の意見が言え、自分で学んでゆくことができるという観点が、日本では欠如している。

質疑応答、フロア発言、アピール採択

その後、質疑応答があり、「敵基地攻撃能力の保有は憲法違反である」、「日本の学校は明治政府が軍隊にならってつくったので、制服は軍服、ランドセルは陸軍の背囊、体育や運動会は軍事教練を模してたもの。したがって、原則として自由は認められず、校則にも自由を認めないものが多くなっている。校則を変える動きはよいことだ」と答えました。

その後、フロアからの発言が3つありました。横浜教職員の会の矢作富男さんは、「正規教員が産休などで職場を離れた時に代替教員が配当されなければならないのに、配当されない未配置が22年度には85件、うち50日以上が24件もある。これは正規教員でない欠員臨任で埋められている。市教委が応募人数を増やすことが必要だ」と訴えました。

横浜教科書採択連絡会の加藤誠さんは、「横浜では2010年から2020年までに自由社・育鵬社の異常な教科書が26.2万人の生徒に使用された。2020年に他社が採択されたが、教科書への攻撃は続き、つくる会系の団体は教科書会社を書き換えを要請している。今後の教育長、教育委員の人事に注目しよう」と述べました。

神奈川県平和委員会の菊地克則さんは、「岸田首相は突然横浜港の中心にあるノースドックに米陸軍の揚陸艇部隊の新設を発表した。戦争を阻止し、平和を守るため、2月18日の桜木町駅前広場での反対集会に参加しよう」と呼びかけました。

最後に、「自民公明連立政権は、沖縄新基地建設や原発再稼働に反対する世論に背を向け、日本国憲法でうたわれている人権尊重・平和・民主主義を根底から崩そうとしています。今日、世界は権威主義と暴力による支配の広がり与人々の分断という危機に直面しています。私たち

は、すべての人々のいのちと人権をまもるため、それぞれの持ち場で何ができるかを考え、多様なつながりを鍛え、ともに闘いましょう」とのアピールを大きな拍手で採択し、閉会となりました。

なお、飯岡事務局長のご尽力により、本集会で『支部の紙上交流会』20冊を希望者に配布し、2月18日の支部研究交流会のチラシを参加者に配布しました。

集会に参加した感想

前川さんの話を聞いて、教育の戦前回帰、右傾化だけでなく、日本の教育の目的が子どもの選別のためとなっていることの方が許しがたいことではないかと思った。18歳の時の試験の点数だけで人間を選別し、その人生、生涯賃金を決めてしまう。そんなことを許してよいのだろうか、前川さんはそれとどうたたかったのか、疑問を感じた。

私は、受験校に進学したために、中学・高校時代をとおして徹底的な選別教育を受けた。また、勤務先で学科長になり、受験にかかわるようになり、県立高校に大きな格差があることを知った。同じ県立高校で、このような格差があること、こんなことを許してよいのか。人間を試験の点数だけで選別してよいのか、教育は子どもの個性を伸ばすためにあるべきではないだろうか。

国や自治体からの助成金などは、高校に対しても大学に対しても、トップ校や勝ち組には多くの予算が注がれるのに対し、底辺校や負け組には削減されている。本来、助成金は困っている学校を救うためのものなのに、負け組の学校をつぶすためのものになっている。許しがたいことだ。

第3回山中市政を進める市民のつどい「地方財政と市予算案を学ぶ」の報告

後藤仁敏

2023年2月23日、市民の市長をつくる会が第3回山中市政を進める市民のつどいを113人の参加で開催しました。

はじめに、代表委員の私が「山中市政を進めるためには何よりも真の与党市議を増やし、カジノの是非を決める住民投票条例案を否決した自民党・公明党の市議を減らすことが必要。山下ふ頭へのカジノ誘致を撤回させたように、瑞穂ふ頭への米軍基地新設を撤回させよう」と挨拶しました。

川瀬憲子さんの講演

川瀬憲子さん（静岡大学教授）は「国の予算と地方財政の課題―集権型システムの構造」について、次のように講演しました（図1）。

安倍・菅・岸田政権は、2015年から「地方創生」政策を始め、各自治体で地方版総合戦略策定、コンパクトシティ政策、公共施設と小中学校の統廃合、成果主義による交付税、交付金や補助金の配分、デジタル化社会・スマートシティにより、集約型国土再編を進めてきた。

静岡市でも、広域的な合併とさらなるコンパクト化が進められ、高齢者施設、障害者施設、



図1 講演する川瀬憲子さん

保健・医療施設、小中学校、児童施設は、統廃合、民営化された。全国では、コンパクト化するために、津波浸水区域に受託誘導もした。

市民の生活権・環境権を守るために、市民参加が必要で、デジタル社会においては個人情報の保護が重要。平和主義と基本的人権の尊重、国民主権、地方自治が総長されなければならない。

報告・挨拶・活動提起

ついで、日本共産党のあらき由美子市議団長が、市議会状況を報告しました（図2）。今年度予算案には公約実現が入らなかったのがっかりしたが、来年度予算案には入った。市の人口が減少しており、子育て対策に対して自民党・公明党も反対できなくなった。給食についての自民党の変身には驚いた。横浜ノース・ドックの米軍基地新設を許さず、平和憲法を守ろうと訴えました。



図2 あらき由美子さんの報告

ここで、県知事予定候補の岸牧子さんが、県知事選への思いを発言し、大きな拍手を受けました。岸さんには市民の会から推薦状と花束が渡されました。

横浜市従の水野博委員長から、23年度予算案の特徴について、市民の要望を反映したものであるが、大型開発の予算も継続しており、更なる見直しが求められると説明しました。

新日本婦人の会神奈川県本部の田中由美子会長は、出産費用ゼロ、中学校給食など、母親と子どもたちの思いを実現してほしいと述べ、2月26日14時から桜木町で「戦争NO!暮らし守って県政一揆パレード」への参加を訴えました。

革新懇横浜連絡会の金谷和夫事務局長は、「市議85名と市内選出の県議40名に統一協会との関係についてのアンケートを取り、44名から回答があり、うち自民党の1名が関係を認めた。自民党県連は関係を見直すとしているが今後も注目してゆきたい」と報告。

市民のための横浜市政を進める会の政村修事務局長は、「市長とはカジノの撤回と住民自治の回復の2点で協定を結んだが、前者は実現したが、後者は道半ばだ。私たちの会は幅広い方々の結集体で、一致点で活動している。市議選で市会の力関係を変えることが必要だ。臨時市議会で、『軽々に住民投票にかけろべきでない』と発言した市議に対し、しっかりとした審判を下そう」と呼びかけました。

最後に、菅野隆雄事務局長が活動提起として、山下ふ頭の再開発意見募集、市議会の傍聴、市議選で山中与党を多数にしようと訴えました。

県知事選勝利をめざす決起集会の報告

後藤仁敏

2023年2月27日、平和で明るい神奈川県政をつくる会主催の県知事選勝利をめざす決起集会が500人の参加で関内ホールで開催されました。

開会前には、2月2日に実施された県政ウォッチ「県内基地調査&石炭火力発電所現場視察」

での、横須賀の米軍・自衛隊基地と石炭火力発電所の見学報告のDVDが上映されました。横須賀港基地については、神奈川県平和委員会の鈴木和弘さんが「ここには、原子力空母ロナルド・レーガンを中心とした米海軍司令部と海上自衛隊司令部が向かい合い、共同して世界のどこにでも出撃できる基地である」と解説しました。火力発電所については横須賀火力発電所建設を考える会の鈴木陸郎さんが「1号機と2号機合わせて一日に石炭1万トンを使って、2万トンの二酸化炭素と1000トンの灰や大量のばい塵を出す石炭火力発電所は気候危機が叫ばれるなか、許されることではない」と訴えました。

最初に、新日本婦人の会神奈川県本部長の田中由美子さんが、「昨日の桜木町駅前広場での神奈川県政一揆パレードには150人が参加し、岸さんも参加して発言されました。みんなの力で岸さんを県知事に当選させましょう」と開会挨拶しました。

山田事務局長の経過報告と候補者紹介、行動提起

次いで、山田浩文事務局長が、以下のように、経過報告と候補者紹介、行動提起をしました（図1）。「現知事はコロナ禍で自宅療法など自己責任を強要し、県独自の対策を怠り、財政調査基金を貯め込んだ。私たちの要求を掲げて知事選に取り組むことが、実現に向けた大きな一歩になる。200万票をめざし、明るい会の構成員1人が10人と対話し、支持を拡大しよう。



図1 報告する山田事務局長

3月4日から18日まで事前キャラバンと150カ所での街頭宣伝

に、3月19日には全県100カ所でいっせい行動に取り組もう。選挙後は、3月25日、4月2日と8日に集中宣伝しよう。ホームページ、公式ライン、ツイッターなども活用しよう」。

その後、日本共産党の神奈川県会議員予定候補13名が紹介され、登壇して大きな拍手を受けました。

小池晃さんの情勢報告

日本共産党書記局長の小池晃さんは、次のような情勢報告をしました。「黒岩県政で神奈川は病床数、保健師、看護師、医師数など、全て全国最下位クラスだ。県の財政力は全国3位でこれを生かせば、医療体制や医療費助成の拡充、学校給食の無償化は十分できる。現知事は安保3文書を「県民の安全に寄与する」と称賛し、岸田政権の大軍拡・敵基地攻撃能力の保有を進力の保有を進めようとしている。岸知事の誕生で、米軍基地の縮小・撤去、化石燃料や原発に頼らない再生可能エネルギー100%の神奈川を実現しよう」（図2）。



図2 情勢報告する小池晃さん

次いで、応援アピールとして、横須賀ピールパワーの相楽順子さんから、映画「グレタひとりぼっちの挑戦」の上映会を岸さんが中心となって1000名以上の参加で成功させてことなどが紹介されました。かながわ市民連絡会の林立彦さん（9区）は白熊のコスチュームで、岸さんも参加している月1回全体会を紹介し、前回のKanagawa Rebornのように応援したいとアピールしました。

岸牧子予定候補の決意表明「戦争の準備でなく平和の準備を」

予定候補の岸牧子さんは、県知事選にあたって、以下のように決意表明しました。「大量のCO₂を出す石炭火力発電所建設は



図3 岸牧子さんの決意表明

気候危機を促進するもので許せない。原発に頼らず、省エネも進め、再エネルギー100%の神奈川を実現したい。米軍基地容認の現知事は、戦争の準備をしている。憲法で保障された地方自治の力を生かして、政府と米国にはっきりとものを言い、県民の命と財産を守る平和の連帯と防波堤をつくりたい。この選挙で、戦争の準備をする知事でなく、平和の準備をする知事の誕生を実現しよう」(図3)。



最後に岸さんは小池さんと手をつなぎ、参加者の大きな拍手をあげました(図4)。なんとしても平和の準備をする県知事誕生させたいという決意みなぎる集会となりました。

図4 小池晃さんと岸牧子さん

今、平和を築くには～軍拡でなく9条こそ国を守り人間性を守る

神奈川民間懇 北山宏之

表題のタイトルで2月25日(土)海老名市文化会館で行なわれた、伊藤千尋(ちひろ)氏の講演会に参加した(海老名共同行動市民の会主催)。そのエッセンスをまとめた。

ウクライナの戦争の教訓。開戦当時の年間軍事費(GDP比)は、

ロシア : 2.6% 兵力約90万、人口の0.6%

ウクライナ: 3.2% 兵力約20万、人口の0.5%

ウクライナも相当の軍事力を持っていた。それでも侵略された。ロシアはウクライナの4.5倍の兵力で半月で勝利する計画が、いまだに勝てない。世界から非難され、大国の地位を失った。軍拡が戦争を招き、互いに傷ついた。

「日本も戦力を倍増すべき」との主張があるが、現在の防衛費は世界9位で、倍増で世界3位の軍事大国になってしまう。

なぜ中国を敵視するのか? 台湾と中国は人間も経済も深い結びつきがある。台湾は中国の一部だと日米も認めている。台湾が今すぐ独立したいとは言っていない。日本と中国は離れられない隣人だ。

軍隊は敵を必要とする。仮想敵国を決めることから装備を具体化する。当面は中国のようだ。外敵がいなければミャンマーのように国内の反政府派を弾圧する。自衛隊内でのセクハラ、パワハラは日常茶飯事で軍隊内で上官が部下に暴力を振るい、力がすべてという発想を社会に植え付ける。

抑止論は防衛費の額から見ても破綻している。防衛費が国内総生産(GDP)の1%から2%に引き上げ、今の5兆円が11兆円規模になる。やがて2%を5%、10%に・・・中国に追いつくまで・・・。その中国の軍事費は27兆円。しかし習近平政権は「米国に追いつく」と宣言。その米国の軍事費は101兆円。日本の予算(100兆円)のすべてを防衛費に? もう戦争状態で生活できなくなる。

「憲法9条で国を守れるか?」とよく言われる。こう言い返したらいい。「国を守る」という考えでは国は守れませんよ。「国を守る」という考えの本質は、「国境の向こうは仲間ではない＝敵だ」と発想し、いつか殺し合いに発展する。双方の人が死に、国は破壊される。結局「軍

隊では国は守れない」では、9条は何を守るのか？

9条は偏狭な一国平和主義ではない。憲法前文「われらは全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」ということで9条は国籍を超えて人類を守る。だから世界に普遍性を持つ。

「憲法9条は国を守り、国を超えて人類を守る！」

横浜市 2023 年予算案学習会の報告

後藤仁敏

2023 年 2 月 6 日、市民のための横浜市政を進める会が、このほど発表された横浜市の来年度予算案についての学習会を開催し、30 名もの市民が集まりました。

岡田尚代表が「今年度の予算は林市長時代からの継続の面が多かったが、来年度の予算案は山中市長の独自色が出ている。しっかり説明を聞き学ぼう」と挨拶しました（図 1）。

その後、市財政局財政課の田中郁雄調査担当課長が約 1 時間にわたって、市長が 1 月 27 日の記者会見で用いた資料にもとづいて、説明しました（図 2）。

なお、これら資料は横浜市のホームページで「令和 5 年度予算案について」と令和 5 年度予算案について〈資料編（係数資料）〉として見ることができます。

その特徴は、令和 5 年度は昨年末に議決された中期計画（2022～2025）の実質的スタートとして「次世代を育み、明日をひらく横浜に向けた好循環を生み出す最初の一步へ」で、基本戦略は「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」です。

基本戦略は、(1)子育て世代への直接支援、(2)コミュニティ・生活環境づくり、(3)生産人口流入による経済活性化、(4)まちの魅力・ブランド力向上、(5)都市の持続可能性の 5 つのテーマから構成されています。

(1)には、中学校 3 年生までの医療費助成、保育・幼児教育の受入枠と人材の確保、中学校給食の実現、(2)には、新たな図書館像の策定、(4)には野毛山動物園のリニューアル、国際園芸博覧会（花博）の開催などがあげられました。

説明の後、1 時間 30 分にわたって質疑応答がありました。保育の受入枠の確保には保育士の労働条件の向上が必要なこと、温かい中学校給食はデリバリー方式では実現できないこと、教育の質の向上には教員数の増加、少人数学級が必要なこと、花博への入場者 1000 万人は無理ではないか、市役所の警備に 28 億円もの予算は過剰警備ではないかなどの質問や意見が相次ぎ、田中課長が一つひとつに答えました。

予定の時間を 1 時間も超過したこれらの質問や意見は、市政への市民の関心がきわめて高いことを実感させるものでした。



図 1 岡田尚さんの挨拶



図 2 説明する田中郁雄課長

行事案内

- ☆3月16日(木) 14:00~15:30 **異次元の大軍拡に立ち向かう** 2023年度予算案は2月28日に衆議院を通過し、年度内成立が確実になってしまいました。私たちの行動はこれで終わりではありません。杉原さんのお話しをお聞きし、大軍拡阻止に向け立ち向かう覚悟を固め合いたいと思います。ご参加をお願いいたします。会場：参議院議員会館 B101 会議室 お話：杉原浩司（武器取引反対ネットワーク代表）さん「異次元の大軍拡に立ち向かう」 各党国会議員の方々から連帯の挨拶 コロナ対策を万全にしてお集まりください。主催：平和をつくり出す宗教者ネット 共催：基地のない沖縄をめざす宗教者の集い 連絡先：090-6711-5573（江上）、ファックス 03-3461-9367
- ☆3月16日(木) 19:00~20:00 **いつまでも基地のない平和な石垣島を！ミサイル基地開設ではなく撤去を！ 3.16 官邸前行動** 場所：首相官邸前（国会議事堂前駅） プラカードなど持参歓迎 呼びかけ：島じまスタンディング ishiisugito@gmail.com、STOP 大軍拡アクション 090-6185-4407（杉原） 呼びかけ文：3月16日、陸上自衛隊「石垣駐屯地」が開設されようとしている。琉球弧の最前線基地化。ここまでやりたい放題にやらせてしまった。そしていま「島々を戦場にするな！」と、その島々に住む人びとが叫んでいる。この事態をどう捉え、私たちに突き付けられたこの声にどう応えるのか、問われています。ぜひご参加ください。
- ☆3月16日(木) 18:30~20:30 **神奈川から憲法を守ろう！平和を守ろう！3.16憲法集会** 会場：かなっくホール（JR東神奈川駅・京急東神奈川駅徒歩1分） 講師：青井未帆先生（学習院大学法科大学院教授） 自由法曹団神奈川支部YouTubeチャンネルにてライブ配信の予定 共催：自由法曹団神奈川支部、青年法律家協会弁護士学者合同部会神奈川支部 問合せ：045-651-2431（横浜合同法律事務所内、田井さん）
- ☆3月17日(金) 13:30~ **中国歴史講座特別編1「詩人、杜甫、李白の詩を味わい、時代を探る」** 会場：戸塚地区センターB 会議室（JR 戸塚駅徒歩5分） 講師：菅野正則（元麻布学園教諭） 資料代500円 主催：日中友好協会横浜西南支部 問合せ：080-5081-6522（大幡さん）
- ☆3月17日(金) 19:00~21:00 **もっかい事故調オンラインセミナー「柏崎刈羽原発を動かしてはいけないこれだけの理由」vol.1** Youtube 接続アドレス（申込みの必要はありません）：
<https://youtube.com/live/Z2mFAHfLPgU?feature=share> モデレーター：伊東良徳（弁護士・柏崎刈羽原発訴訟弁護団） パート1 報告：1.「原発は経年劣化と長期間停止のダブルパンチを食らっている」小倉志郎（元原発技術者）、2.「原子炉材料の高温耐性について」田中三彦（サイエンスライター） パート2 ディスカッション：もっかい事故調メンバー 小倉志郎、田中三彦、後藤政志、渡辺敦雄、伊東良徳、上澤千尋、武本和幸、澤井正子（進行の都合上、報告テーマ、構成等変更の可能性があります） 参加費無料 ご支援のお願い：もっかい事故調の活動へご支援よろしくお願い致します。城南信用金庫 九段支店 普通：327903 名義：田中三彦 もっかい事故調オンラインセミナーに関する問合せ先：mokkai.jikocho@gmail.com、090-4422-5394（担当：澤井）
- ☆3月18日(土) ~3月26日(日) 映画「2887~アベ政治を記憶する」オンライン上映会 チケット1220円 イベント（販売）ページ 2/25より <https://kipz.fun/mall/event/1705> 飯田基晴 映像グループ ローポジション（〒231-0033 横浜市中区長者町4-10-1-204、電話：045-228-7996 電話&FAX:045-228-7976、携帯:090-9828-1357）
- ☆3月18日(土) 9:30~12:00 **かながわ市民連絡会全体会** オンラインのみ（zoom） 議題：各区の報告、意見交換など 問合せ：080-3402-3360（内藤繁）
- ☆3月18日(土) 10:30~12:30 **学習会 横浜港の米軍基地で、今、何が起きている？** 会場：神の木地区センター3階中会議室+小会議室（JR 横浜線大口駅東口徒歩5分） 講師：星野潔（リムピース編集長、立正大学講師・関東学院大学講師） 主催：神奈川3区（神奈川区・鶴見区）野党共闘を求める市民の会 連絡先：神奈川区 090-3916-0261（中原）、鶴見区 090-4703-6422（伊藤）
- ☆3月18日(土) 11:00~ **立憲民主党街頭演説会 長妻 昭 来たる！** 場所：大船駅笠間口 弁士：長妻 昭（立憲民主党政務調査会長）、早稲田ゆき（衆院議員）、飯野まさたけ県議、長谷川えつこ（横浜市議）、いいやま直樹（葉山町議）、中村かずお（葉山町議）、岡田かずのり（鎌倉市議）、加藤ひでこ（逗子市議）、江川晋一郎（栄区県政担当）
- ☆3月18日(土) 13:00~15:30 **みうらピースデー 映画「西から昇った太陽」上映会** 13時~映画解説：蓮沼佑助さん（東京都立第五福竜丸展示館学芸員） 13時30分~上映 14時50分~交流会 学習会 共催：三浦地区労働者組合協議会・三浦市 問合せ：三浦市政策部政策課 046-822-1111（内線

215)

- ☆3月18日(土) 13:30~14:30 **大軍拡増税 NO 軍事費削って暮らしへ スタンディング・デモ** 場所: JR 桜木町駅前南改札東口(降雨時は「野毛地下道」入口付近) 主催: 神奈川憲法共同センター (045-212-5855、神奈川労連)
- ☆3月19日(日) 13:00~ **2023原発のない福島を! 県民大集会** 会場: パルセいいざか(福島県飯坂市) 主催: 実行委員会 事務局: 024-522-6101 (福島県平和フォーラム内)
- ☆3月19日(日) 13:00~15:00 **第12回さよなら原発ウォーク in さむかわ** 集合: 13時、さむかわ中央公園(JR 寒川駅徒歩17分)に集合 主催: 寒川ピースネット 問合せ: 080-4959-5450 (吉田さん)
- ☆3月19日(日) 14:00~16:00 **JCJ(神奈川支部) オンライン講演会 ヘイト批判報道 スラップ訴訟を闘って** 講師: 石橋学さん(神奈川新聞川崎総局編集委員) 参加費500円 参加希望者はネットのPeatixで参加費をお支払いください。①<https://jcjonline0319.peatix.com>をクリック。②参加券を申し込むをクリック。③支払いに進む。初めてPeatixを利用する方はアカウントを作成、名前、メールアドレス、自分のパスワードを入力し、ログインする。④支払い手段の選択。⑤zoomの配信urlを3月18日までに連絡します。JCJ会員は参加費無料、jcj_online@jcj.gr.jpに氏名を明記し、メールで申し込みください。主催: 日本ジャーナリスト会議(JCJ) 神奈川支部 (080-8024-2471)
- ☆3月19日(日) 14:00~ **3・19国会議員会館前行動** 場所: 衆議院第2議員会館前を中心に フィジカルディスタンスを確保しながらスタンディング できるだけ各自のプラカード持参を 共催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会/9条改憲NO! 全国市民アクション
- ☆3月20日(月) 18:00~ **憲法9条改憲NO! ウィメンズアクション** 場所: JR有楽町駅イトシア前 主催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会 性差別撤廃Project Team
- ☆3月21日(火・祝) 10:00~ **学習会「安保3文書を学ぼう! 勝手に決めないで、大軍拡・大増税」** 会場: アミューあつぎ 610 (小田急線本厚木駅徒歩5分) 講師: 川田忠明(日本平和委員会常任理事) 資料代200円 zoomあり 主催: 厚木愛川平和委員会 問合せ: 046-228-7264 (川瀬さん)
- ☆3月21日(火・祝) **3.21フクシマを忘れない! 再稼働を許さない! さよなら原発全国集会** 場所: 代々木公園B地区イベント会場(原宿駅、明治神宮前駅、代々木公園駅、代々木港万駅下車) 13:00~オープニングライブ、ブース開店 13:30~トークライブ: 落合恵子さん、鎌田慧さんほか、福島から、再稼働の現地から 15:00集会終了 15:15デモ行進: 原宿コース、渋谷コース 主催: 「さよなら原発」一千万署名市民の会 さよなら原発1000万人アクション事務局 (03-5289-8224、原水禁気付)
- ☆3月23日(木) 10:00~10:30 **県知事選予定候補・岸牧子出発式・告示第一声** 場所: 横浜駅西口、12:00~13:00 第一声 場所: 桜木町駅前広場
- ☆3月24日(金) 18:30~ **軍拡やめろ! 軍事費(防衛費)増やすな! 増税反対・暮らしを守れ! 3・24国会正門前行動** 場所: 国会正門前 主催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会
- ☆3月24日(金) 18:30~21:00 **座標塾第19期第1回 大転換する日本の政治と財政** 講師: 白川真澄(ピープルズ・プラン研究所) 参加費1回1000円(テオリア会員500円)、第19期通し4000円(テオリア会員2500円) 会場: 文京区民センター(春日駅・後樂園駅; 第2回以降予定)、またはオンライン=要申込 要申込。第1回・会場受講申込3月23日まで。zoom受講申込は3月17日まで。zoom受講は研究所テオリアの口座(下記)に参加費を振込みください。会場受講は当日払いで構いません。参加費振込先: 郵便振替 00180-5-567296 研究所テオリア
- ☆3月25日(土) 10:00~ **津田山・戦争遺跡探検とお花見(久地円筒分水)** 10時にJR 武蔵溝ノ口駅改札に集合 持ち物: 弁当、水筒 主催: 日中友好協会川崎支部 問合せ: 44-877-1266
- ☆3月28日(火) 18:00~21:00 **オルタナティブな日本をめざして(第83回)「台湾有事と日米軍事同盟」(孫崎享さん: 新ちよぼゼミ)** 講師: 孫崎 享さん(東アジア共同体研究所理事・所長、外務省国際情報局長、駐イラン大使などを歴任) 会場: スペースたんぼぼ(高橋セーフビルの1階、JR水道橋駅西口徒歩5分) 参加費(資料代含む)800円(学生400円) 予約の受付窓口: たんぼぼ舎(TEL 03-3238-9035)に電話していただき「受付番号」をもらってください。
- ☆3月29日(水) 15:00~16:00 **新護憲神奈川総会** 会場: かながわ県民活動サポートセンター705号室(横浜駅西口徒歩5分) 問合せ: 090-7272-3092 (松原)
- ☆3月31日(金) 19:00~21:00 **もっかい事故調オンラインセミナー「柏崎刈羽原発を動かしてはいけないこれだけの理由」vol.2** Youtube 接続アドレス(申込みの必要はありません)
<https://youtube.com/live/B1CsyoRxRzw?feature=share> モデレーター: 伊東良徳(弁護士・柏崎刈

羽原発訴訟弁護団) パート1 報告 1.「水素爆発対策とフィルターベントについて」後藤政志(元
原発技術者)、上澤千尋(原子力資料情報室・原発事故担当)、2.「柏崎刈羽原発の立地問題と避難の
困難性」武本和幸(刈羽村を守る会) パート2 ディスカッション:もっかい事故調メンバー 小
倉志郎、田中三彦、後藤政志、渡辺敦雄、伊東良徳、上澤千尋、武本和幸、澤井正子(進行の都合上、
報告テーマ、構成等変更の可能性があります) 参加費無料 ご支援のお願い:もっかい事故調の活
動へご支援よろしくお願ひ致します。城南信用金庫 九段支店 普通:327903 名義:田中三彦 も
っかい事故調オンラインセミナーに関する問合せ先:mokkai.jikocho@gmail.com、090-4422-5394(担
当:澤井)

☆4月1日(土) 14:30~16:30 **日本科学者会議(JSA) 平和問題研究委員会・沖縄支部 連続学習会 3** 講
師:金谷義弘さん(宮崎大学名誉教授、経済学)「ロシア連邦の侵略的性格の社会経済的基盤をさぐる」
リモート開催(zoom)・口頭で質疑できます。参加無料 ZOOM によるリモート開催です。どなたでも、
どこからでもご参加になれますので、JSA 内外を問わずぜひお知り合いもお誘いください。
<https://us06web.zoom.us/j/83434043795?pwd=UHo0ZklKam85MlRYeTdxTi9lc0hIZz09> 主催者連絡
先:JSA 沖縄支部(亀山統一) okinawa@jsa.gr.jp 090-1942-3094

☆4月6日(月) **共謀罪廃止! 秘密保護法廃止! 監視社会反対! 「12・64・6を忘れない6日行動」 国会前
行動** 12:00~12:45 場所:衆議院第二議員会館前 **院内集会ー武器としての国際人権ー** 13:30~
15:30 会場:衆議院議員会館会議室(予定) お話:未定 共催:「秘密保護法」廃止へ! 実行委
員会、共謀罪NO! 実行委員会

☆4月8日(土) 14:30~ **春、いちばん! 第29回いちばん星コンサート** 会場:多摩市民館大ホール(向
ヶ丘遊園駅徒歩5分) A席1500円、B席1300円、子ども・障害者席500円 新年早々発売 第1部:混
声合唱のための童謡メドレーいつの日か 第2部:今だからこの平和の歌を 第3部:混声合唱のため
のいのちをつなぐ人たちのうた 指揮:山寺圭子 ピアノ:中山真理 主催:合唱団いちばん星 問
合せ:090-9147-2829(吉田治夫)

☆4月16日(日) 14:00~16:00 **読書会『自衛隊も米軍も、日本にはいない!』**(花岡しげる著、花伝
社) 会場:男女共同参画センター横浜(フォーラム横浜) 2階セミナールーム3(戸塚駅西口出口6
徒歩5分) 資料代500円(資料として本をお渡しします)。主催:平和憲法を守り、行動する神奈川
女性の会 問合せ:gakushu-kai@protonmail.com

☆4月25日(火) 18:00~21:00 **オルタナティブな日本をめざして(第84回)「原発をやめるべきこれだ
けの理由:老朽化と安全工学」**(新ちよぼゼミ) 講師:後藤政志さん(元東芝、原子炉格納容器設
計者) 会場:たんぽぽ舎(高橋セーフビルの1階、JR水道橋駅西口徒歩5分) 参加費(資料代含む)
800円(学生400円) 予約の受付窓口:03-3238-9035、Email:tanpopo3238@yahoo.co.jp たんぽ
ぽ舎(上記に電話していただき「受付番号」をもらってください)

☆4月27日(木) 14:00~16:00 **金平茂紀さん講演会「殺すな! 報道の自由 2023」** 会場:厚木市文化会
館小ホール(小田急線本厚木駅下車徒歩13分 バス・駅南口14番のりば) 前売券500円 当日券
700円 主催:厚木市九条の会ネットワーク 問合せ:090-1889-4103(川瀬さん)

☆4月30日(日) 13:30~15:30 **春の学習会:『自衛隊も米軍も、日本にはいない!』**(花岡しげる著、
花伝社) 会場:かながわ県民センター305(横浜駅西口徒歩5分) ファシリテーター:花岡しげる
さん(市民活動ミュージシャン) 資料代500円(4月16日の読書会に参加した方は無料) 主催:平
和憲法を守り、行動する神奈川女性の会 問合せ:gakushu-kai@protonmail.com

☆5月1日(月) 18:30~ **2023 憲法を考える 5.3 県民集会「迫る改憲発議ー旧統一教会・自民党の闇ー」**
講演:有田芳生さん(ジャーナリスト・前参議院議員) 会場:かながわ県民センターホール(横浜駅
西口徒歩5分) 申込み不要 資料代500円 託児あり(要申込) 主催:かながわ憲法フォーラム 共
催:神奈川平和運動センター 事務局連絡先:TEL. 045-231-2479(神奈川県高等学校教職員組合内)、
E-mail:kanagawa.kenpo.forum@gmail.com

☆5月3日(水・祝) 11:00~12:00 **憲法9条を守る宣伝活動** 場所:桜木町駅前広場 出演:神奈川
うたごえ協議会 呼びかけ:九条かながわの会 問合せ:後藤(090-7175-1911)

☆5月3日(水・休) **あらたな戦前にさせない! 守ろう平和といのちとくらし2023憲法大集会** 場所:有
明防災公園 主催:平和といのちと人権を! 5.3憲法集会実行委員会

☆5月14日(日) 10:10~15:00ごろ **第63回神奈川地学ハイキング:城ヶ島で大正関東地震による地盤隆
起の痕跡を見る** 集合:京急線「三崎口」駅改札口付近に10時集合。10時23分の城ヶ島行バスに乗り、

終点下車。小雨決行、悪天中止。案内：蟹江康光さん（元横須賀市博物館学芸員、ジオ神奈川代表）、蟹江由紀さん（元公立中学校理科教師、ジオ神奈川事務局長） コース：京急線三崎口→バスで城ヶ島バス停→観光橋横でカンザシゴカイの棲み跡の見学→断層、火山灰層、海食洞の見学→昼食→馬の背洞門→白秋碑前バス停→三崎口駅で解散予定 持ち物：筆記用具、昼食、水筒など 参加費・保険料：600円（「城ヶ島探検マップ」（日本地質学会）の代金を含む） 参考書：蟹江康光編『城ヶ島たんけんマップ』日本地質学会（会員頒価300円。蟹江康光編『関東大地震-未公開空撮写真』（ジオ神奈川）。主催：地学団体研究会神奈川支部・埼玉支部・埼玉日曜地学の会 連絡先：電話 090-7175-1911、E-mail goto@kd5.so-net.ne.jp 後藤仁敏

☆5月25日（木）18:30～ **止めよう！琉球弧の戦場化5.25横浜集会～山城博治さんを迎えて～** 会場：神奈川県民センター・ホール（横浜駅西口徒歩5分） 辺野古現地報告 沖縄からの訴え 山城博治さん（ノーモア沖縄戦 命どう宝共同代表） 資料代800円（学生無料） 主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会 協賛：神奈川平和運動センター、原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議 連絡先：090-4822-4798（深沢）

☆5月27日（土）10:00～17:00 **日本科学者会議第59回全国大会 第1日目** オンライン開催

☆5月27日（土）13:30～16:00 **第13回鶴見平和フェスティバル フラメンコと講演の集い** 会場：鶴見公会堂ホール（JR鶴見駅西口直結、西友鶴見店6階） 参加費500円 フラメンコ：ラス・ピエドラス（代表：野中亮子さん） 講演：孫崎亨さん（元外交官、東アジア共同体研究所所長）「日本の軍事力拡大はアジアに平和をもたらすか～どうする日本の平和外交 私たちの命と暮らしを守るために」 呼びかけ人：後藤仁敏（鶴見大学名誉教授）、前川雄司（弁護士）、宮澤由美（汐田総合病院院長） 主催：第13回鶴見平和フェスティバル実行委員会 連絡先：味村（045-572-4105）、松崎（045-947-3260）、金谷（080-3727-5352）、五島（080-5648-9131）

☆5月28日（日）13:30～16:30 **大軍拡反対、憲法改悪を止めよう！ 九条の会全国交流集会** 会場：日本教育会館第一会議室（東京都千代田区一ツ橋2-6-2） 参加費：一般1000円、学生500円 参加対象：各地・各分野の九条の会会員 定員300名のため、事前申込みをお願いします。参加申込み：ファックス（03-3221-5076）で、参加者名、所属する会、連絡先、発言希望者はテーマをお書きください。発言は5分でお願いします。連絡先：九条の会事務局（電話03-3221-5075、ファックス03-3221-5076、Eメール：sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp）

☆5月28日（日）14:00～16:00 **第90回草の根歯科勉強会 薬を飲む前に知っておきたいこと・考えたいこと〈パート2〉** 会場：梨の木カフェ（水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで） zoomあり 要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp 講師：廣島彰彦氏（株・山崎帝國堂・薬剤師・医学博士） 主催：草の根歯科研究会

☆6月7日（水）14:00～ **安保法制違憲かながわ訴訟 控訴審第2回目** 場所：東京高裁101号法廷 終了後、15時頃から、報告集会の予定 安保法制違憲訴訟かながわの会（福田弁護士、045-222-4401、関守弁護士、045-651-2431）

☆6月11日（日）10:00～17:00 **日本科学者会議第59回全国大会 第2日目** オンライン開催

☆6月11日（日）**若者憲法集会2023** 会場：有楽町朝日ホール 終了後、デモ行進 主催：実行委員会（地域実行委員会は150以上結成）

JSA 神奈川支部幹事会と発送作業：日時：4月18日（火）15:00～16:00 会場：横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階B かながわ総研の新事務所（1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のある第1HBビルの5階です。関内駅南口から徒歩3分）。

連絡先：飯岡ひろし（携帯：090-1557-9941、E-mail：iioka408(at)gmail.com）

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろ発送です。

送り先：後藤仁敏（E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax：045-894-1052）